

J A グループ宮城 災害復興ニュース (総合版)

第 2 9 号

【平成 23 年 8 月 8 日 (月) 発行】
発行：J A グループ宮城災害復興本部
編集：J A 宮城中央会
〒980-0011 仙台市青葉区
上杉 1 丁目 2 番 16 号 JA ビル宮城 6F
電話番号：022-264-8697 又は 264-8207
FAX 番号：022-216-4466
E-mail：jataisaku@gmail.com

《目次》

I. 復興本部からの情報提供

1. J A 宮城中央会通常総会にて菅原新会長を選任、J A グループ宮城復興ビジョンを設定
2. 原発事故に起因する畜産被害に関する緊急要請について
3. 「J A グループ宮城東日本大震災対策宮城県代表者集会」開催について
4. 広島から岩手・福島・宮城へ復興応援ソング届く
5. J A グループ支援隊活動について

I. 復興本部からの情報提供

1. J A 宮城中央会通常総会にて菅原新会長を選任、J A グループ宮城復興ビジョンを設定

7 月 3 1 日 (日) J A ビル宮城において J A 宮城中央会は通常総会を開催し、菅原章夫会長 (J A 栗っこ) および竹中莞爾副会長 (J A 古川) を選任しました。木村春雄会長は、任期満了を受けて退任しました。菅原新会長は、「東日本大震災からの復興を優先課題として全身全霊で取り組む」と決意を述べました。

議案では、「J A グループ宮城復興ビジョン」を設定し、農業生産、くらし、J A 経営の 3 分野において、今年度・3～5 年の中期・10 年後の目指すべき姿について承認がなされました。これは、11 月に開催を予定している J A グループ宮城災害復興大会で J A 内外に示されます。

「東日本大震災からの農業復興と地域再生に関する特別決議」も採択し、二重債務問題解消や原発事故の終息と万全な補償などを求めました。



復興への決意を述べる菅原章夫新会長 (右端)



特別決議を読み上げる J A 南三陸高橋正組合長 (中央)

2. 原発事故に起因する畜産被害に関する緊急要請について

福島第一原発事故の影響で牛肉から放射性セシウムが検出されたことを受け、7月25日にJAグループ宮城はJAグループ岩手と合同で民主党岡田幹事長、平野復興担当相、農水省政務3役らに緊急要請を行いました。JAグループ宮城からは県内6JAの組合長や常務、JA宮城中央会菅原副会長、佐藤常務、全農宮城県本部千葉部長等9名が参加しました。

要請した内容は、出荷牛・牛肉の早急な全頭検査と暫定規制値等を超えたものの買い上げ、東京電力への損害賠償請求に対する国の責任による早期支払等9項目です。

菅原副会長は、生産者の営農意欲を失わせないためにも、検査体制を強化して、安全性を高めることが重要だと訴えました。これに対し、平野復興担当相は全頭検査も視野に検査体制の強化を検討する旨答えました。



平野復興担当相に緊急要請書を手交する菅原副会長（右から3番目）

3. 「JAグループ宮城東日本大震災対策宮城県代表者集会」開催について

JA宮城中央会と宮城県農協政治連盟は7月29日、「JAグループ宮城東日本大震災対策宮城県代表者集会」を開きました。

集会には宮城県内14JA、県青年連盟、JAみやぎ女性協、農林中金、全農宮城県本部、全共連宮城県本部、中央会それぞれの代表者等が参加した他、宮城県選出国會議員11名も出席しました。

「東日本大震災からの農業復興促進に関する要請」「原発事故に起因する畜産被害に関する要請」を行ったうえ、TPP参加の検討や、米の先物取引の本上場認可について断固反対し、大震災を乗り越え農業と地域の再生、安全・安心な食糧供給に全力で取り組んでいくという集会宣言を採択しました。

同日は午前中に東京都内でJA全中及び全国農政連主催による「東日本大震災対策・基本農政確立対策全国代表者集会」も開催され、被災地復旧・復興対策の早急実施やTPP交渉参加断固反対を訴えました。



宮城県代表者集会にて挨拶する木村会長（中央）



全国代表者集会にて被災地の苦境を訴える菅原副会長（中央）

4. 広島から岩手・福島・宮城へ復興応援ソング届く

広島県安芸郡熊野町出身の姉妹ユニット「M e b i u s (メビウス)」が東日本大震災の被災者に向けて作ったチャリティーソング『きみのもとへ』のCDが、7月25日(月)JA広島中央会農政広報部上野敏浩部長から、岩手・福島・宮城の各JA中央会担当者に手渡されました。

メビウスは、岡田真実さん・岡田賀江さんの姉妹で広島県を拠点に活動しているユニットで、楽曲『青空』は現在JA共済広島のコマーシャルソングとなっています。

CDを自主製作した岡田真実さんは「被災地に思いを寄せられるようにこの曲をつくりました」と語っています。

5. JAグループ支援隊活動について

全国JA支援として、4月より継続的に「東日本大震災JAグループ支援隊(全国のJA役職員による災害復興支援ボランティアチーム)」が被災JA・組合員への支援活動を行っています。現地からの評価が高いため、JA全中は7月末までとしていた予定を変更して10月まで延長することを決定しました。

(1) 第14陣による活動

第14陣59名が7月18日(月)に到着しました。今回の支援隊には、東京・三重・滋賀・岐阜・埼玉・熊本のJA職員およびJA全中の職員が参加しています。7月22日(金)までJAみやぎ亘理管内の農作業支援とJAいしのまき管内の園芸施設へドロ撤去作業を実施しました。

(2) 第15陣による活動

第15陣100名が7月25日(月)に到着しました。今回の支援隊には、愛知・岐阜・鳥取・広島・熊本・埼玉・鹿児島青年部員・JA職員・各連合会職員が参加しています。7月29日(金)までJAみやぎ亘理管内の圃場整備とJAいしのまき管内のドロ撤去作業を実施しました。

(3) 第16陣による活動

第16陣12名が8月8日(月)に到着する予定です。今回の支援隊には、鹿児島県のJA職員及び各連合会職員が参加しています。8月12日までJAみやぎ亘理管内でイチゴハウスの建設作業を実施します。

以 上